

平成 17 年 1 月 18 日  
福島県生活環境部原子力安全グループ

### 原子力発電所に関する情報について

このことについて、平成 17 年 1 月 17 日に県あてに匿名で下記の内容の原子力発電所に関する情報提供があり、関係機関に連絡しましたのでお知らせします。

#### < 情報提供の内容 >

- ・ 昨年は東京電力原子力発電所の一連のトラブルで仕事が少ない時期があり、今までできていた職人は、年間通して働けるところに行ってしまう、現場作業員のレベルは確実に低下している。
- ・ 現場は、書類優先で作業の質は二の次となっており、電力の社員に聞くと本社が決めた事だから仕方がないとの事である。
- ・ こんなことで原子力の本当の安全は確保できるのか。
- ・ 現在、第一原子力発電所は全プラント停止しているが、東京電力はこれを全プラント運転にこぎつければ更なるコストダウンを考えているらしい。
- ・ 地元のことなど何も考えていない。
- ・ 内側から見た、原子力発電所の問題点を挙げるので、改善される様に働きかけてほしい。
  - 1 . 一年間安定して働けないと作業員の技術力低下につながる。(仕事を求め他へ行った職人は戻ってこない)
  - 2 . 書類管理ばかりを重視し、現場作業の質を重視しなくなった。(運転後に不具合が出てくる)
  - 3 . 東京電力は、現地に取締役クラスが誰もいない。(取締役が現地に常駐していないから、現地の意見が弱く本社の机上の理想論で物事が進む)
  - 4 . 東京本社の一極集中型(トラブル対応が遅れる、逆に現地の権限を強くするべき)

以上

( 担当 原子力安全 G 電話024-521-7252 内線2800 )